

西別府病院

基本理念 <私たちは常に研鑽し患者さまのために最良の医療を提供します>

当院は1971年に旧国立療養所光の園、同石垣原病院、同別府荘が統合し、国立療養所西別府病院として発足、2002年現在の病院名へと名称変更しています。別府市の中心より西北の扇山麓に位置し、海拔約160mの高台の風致地区及び住居専用地域に指定された閑静な地にあつて、前方に別府湾を遠望し、背後には鶴見岳などの火山群が連なる自然環境、交通の便に恵まれた療養に最適の地です。診療圏は、当院が大分県下の結核医療の最終拠点であること、筋ジス・重心病棟を併設した県内唯一の旧国立療養所であることから、別府市はもとより大分県下全域に及んでいます。

【施設概要】2023.7（データは2022年度実績）

- 所在地 〒874-0840 大分県別府市大字鶴見 4548 番地
- 特徴 エイズ拠点病院、大分県結核医療の最終拠点病院
- 診療科 13 診療科（内科、神経内科、呼吸器科、循環器科、外科、整形外科、脳神経外科、小児科、精神科（小児科）、婦人科、放射線科、リハビリテーション科、歯科）
病床数 272 床（一般 60 床、結核 12 床、重心 124 床、筋ジス 76 床、）
- 薬剤師数（定数 6 名）
薬剤部長 1 名、副薬剤部長 1 名、主任 3 名、薬剤師 1 名、薬剤助手 1 名
- 主な業務
(ア)調剤 入院 23,701 枚/年、外来 850 枚/年（院外処方率 93.6%）
(イ)注射 入院 10,611 枚/年、外来 1,567 枚/年
(ウ)薬剤管理指導件数 868 件/年
(エ)チーム活動 ICT（感染対策向上加算 3）、NST（栄養サポートチーム加算）
AST、褥瘡対策チーム
- 特徴的な業務 SMO と連携して治験薬の調剤・払出、調製、管理簿記載を実施
- 2023 年度の取り組み 採用医薬品目数の削減、認定・専門の資格取得の推進
後発医薬品への切り替えの推進（使用体制加算 1 取得維持）
- システム・設備

項目	有・無
電子カルテ	○
自動錠剤分包機	○
散剤監査システム	○
水剤監査システム	○
散剤分包機	○
安全キャビネット	○
クリーンベンチ	○

9. 目標 (2023 年度)

病院目標

1. 収支黒字化につながる収益確保・費用削減
2. 専門知識と技術の向上
3. 新型コロナウイルス感染症と監視病原体の感染対策の徹底
4. 規程と手順の遵守を通じた医療安全の推進

薬剤部目標

1. 薬剤師としての専門性を発揮し、収益増や経費削減の面から病院経営に貢献する
2. 専門知識をもって、医療スタッフと協働できる人材を育成する
3. 新型コロナウイルス感染症対策への速やかに対応する
4. 院内全ての医薬品に関与し、積極的に医療安全を推進する